

		月	火	水	木	金	土
午前診療 9:00 ~ 12:30	初診	森口 義博	鳥居 和広 (新患)	森口 義博	荒木 萌 (新患)	鳥居 和広 (新患)	林田 宜久
	再診	松本 恵太 (新患)	松本 恵太	畑田 鉄平 (新患)	松本 恵太	酒匂 あやか (糖尿病)	松本 恵太 (新患)
	再診	2・4週 泉賢太郎(整形) 1・3・5週 吉田彰(外科)	朝長 哲生	1・3・4・5週 福永亮大 2週 朝長 哲生	吉田 彰	朝長 哲生	泉 賢太郎 (整形)
午後診療 13:30 ~ 17:30	初診	畑田 鉄平	中溝 礼一郎	林田 宜久	中溝 礼一郎 (新患)		中溝 礼一郎 (新患)
	再診	荒木 萌	中溝 礼一郎 鳥居 和広	畑田 鉄平	久留米大学病院 内科医師(非常勤)	荒木 萌	
	再診	荒木 萌	松本 恵太	畑田 鉄平	久留米大学病院 内科医師(非常勤)	荒木 萌	
再診	畑田 鉄平	中溝 礼一郎	森口 義博	中溝 礼一郎	森口 義博		
健康診断		中溝 礼一郎	荒木 萌 畑田 鉄平	鳥居 和広	鳥居 和広	中溝 礼一郎	畑田 鉄平 荒木 萌

医療法人社団 淳生会のご案内

医療法人社団 淳生会  
**慈恵病院**

診療科目 / 内科・呼吸器科・循環器科・消化器科・肛門科・外科・放射線科・リハビリテーション科

病床数 / 230床(療養病床・一般病床)  
〒859-0401 長崎県諫早市多良見町化屋 995 番地  
TEL:0957-43-2115 FAX:0957-43-2193

●慈恵病院 健康診断室

検診科目 / 個人健診・企業健診・原爆健診・その他健診・人間ドック  
TEL:0957-28-5001 FAX:0957-28-5008

●慈恵病院 訪問看護ステーション  
TEL:0957-28-5511 FAX:0957-43-2025

●慈恵病院 ケアマネジメントセンター  
TEL:0957-28-5533 FAX:0957-43-2025

介護老人保健施設 **恵風園**

事業内容 / 短期入所生活介護・療養介護  
定員数 / 入所 100名・短期入所 4名

●訪問リハビリステーション 恵風園  
理学療法士が、ご自宅までお伺いします。  
〒859-0401 長崎県諫早市多良見町化屋 995 番地  
TEL:0957-43-2116 FAX:0957-43-2522

●通所リハビリテーション 恵風園  
定員数 / 60名 / 日  
TEL:0957-43-1532 FAX:0957-43-2522

グループホーム もり **けやの杜**

定員数 / 18名  
〒859-0401 長崎県諫早市多良見町化屋 1840  
TEL:0957-46-3301 FAX:0957-46-3302



淳生会は、V・ファーレン長崎を応援しています。

【アクセス】  
慈恵病院・恵風園まで  
長崎県営バス「諫早日赤病院前」より 徒歩 1分  
JR「喜々津駅」より 徒歩 8分  
「多良見インター」より 車で 3分

けやの杜まで  
長崎県営バス「諫早日赤病院前」より 徒歩 2分  
JR「喜々津駅」より 徒歩 6分  
「多良見インター」より 車で 3分

淳生会  
ホームページ / <https://jyunseikai-jikei.jp/>

医療法人社団 淳生会 慈恵病院・介護老人保健施設 恵風園・グループホーム けやの杜 広報誌

芽ぐみ通信 No.14

発行 / 医療法人社団 淳生会 〒859-0401 長崎県諫早市多良見町化屋995番地  
編集 / 淳生会広報委員会

芽ぐみ通信



▲「白木峰高原の春」毎年3月下旬～4月上旬には、約10万本の菜の花が、帯を黄色に染め、桜の花とのコントラストが絶景です。さらに、諫早平野から諫早湾干拓地、遠くに雲仙普賢岳などの素晴らしいパノラマを見渡すことができます。十分なウイルス対策をして、さあ！今年の春は、家族でお出かけしましょう！

contents 1	慈恵病院 「特定看護師をご存知ですか？」	contents 2	インタビュー/恵風園 訪問リハビリテーション	連載 No.03	contents 3	慈恵病院 栄養課 ソフト食について
------------	----------------------	------------	------------------------	----------	------------	-------------------

GW 期間中の外来診療のご案内

4 / 29 (金) 休診	5 / 3 (火) 休診
4 / 30 (土) 午後休診	5 / 4 (水) 休診
5 / 1 (日) 休診	5 / 5 (木) 休診
5 / 2 (月) 通常診療	5 / 6 (金) 通常診療

面会について  
最新の状況につきましては、当院ホームページにてご確認ください。  
<https://jyunseikai-jikei.jp/>



今回は、特定看護師である原貴仙主任にインタビューを行いました。

**Q1. 一般の方には聞きなれない言葉かと思いますが、特定看護師とは何ですか？**

**A.** 特定看護師とは、所定の研修を修了した一定の診療の補助について、医師・歯科医師があらかじめ作成した特定行為の手順書（指示書）によってタイムリーに処置することができる看護師です。今までは医師に患者様の状態を一つ一つ報告をして判断や指示を仰いでいましたが、手順書がある特定行為に関しては看護師自身の判断で対処することができ、より早く処置を行うことが可能になりました。全国に4,393名（2021年9月現在）おり、長崎県内では28名（2020年7月現在）が、大学病院や医療センターなどの高度急性期病院から、当院のような慢性期病院、訪問看護ステーション、離島圏医療組合など様々な場所で勤務しています。

**Q2. 当院での活動について教えてください。**

**A.** 現在は全病棟を対象に、『呼吸器』と『創傷管理』に関する特定行為を行っています。また、新規入院患者様やそのご家族に対して、チーム医療推進のための看護師特定行為について説明を行っています。看護師の専門性を主体とし、タイムリーに特定行為を安全に実施することで、患者様の苦痛の軽減や早期回復のために活動しています。

**Q3. 今後の展開は？**

**A.** 今後、超高齢社会が更に進行していく中で、限られた医療資源で多くの高齢者を支えるため、チーム医療の推進、医療者の役割拡大や医療機関の医療機能の分化、在宅医療の推進など様々な医療提供体制の改革が行われています。医療の高度化や複雑化が進む中、安全で質の高い医療をすべての患者様にご提供するためには、チーム医療は不可欠です。また、医療資源の効率的な分配という視点で看護師への社会的期待は高まっており、今後の急性期医療はもちろん慢性期や在宅医療においても私たち看護師の活躍は期待されていますので、非常に責任とやりがいを感じています。



連載

No.03

インタビュー

恵風園

訪問リハビリステーション

**Q1. 訪問リハビリはどのような方々が利用されますか？**

**A.** 『病院・施設でリハビリを受けたいけれど、通うことが大変な方』  
『自宅のお風呂に入れるようになりたい方』  
『トイレを使えるように練習したい方』  
『買い物に行きたいけれど、外出することが不安である方』  
『家族で両親の介護をしているけれど、もっと双方が楽な介助方法を教えてもらいたい方』  
といった利用者様とご家族が利用されています。

**Q2. 訪問リハビリの魅力は、何ですか？**

**A.** 訪問リハビリは、利用者様の生活を密接に感じることができます。その中で私たちの役割は“きっかけ作り”をすることだと考えています。

例えば

- 『自分のベッドで起きるのが難しかったけれど、リハビリをして今ではベッドから離れて生活できるようになった』
- 『家の周りを歩くのが怖かったけれど、一緒に外を歩くリハビリをしたので、今では散歩できるようになった』
- 『家のトイレに自分に合った手すりをつけて、一人でできるようになった』
- 『なかなか介護することが億劫と感じていたけれど、介助の仕方を工夫することで、介護が楽に感じるようになった』

といった生活の“きっかけ作り”をお手伝いすることで、利用者様とご家族がご自宅での生活を楽しくていらっしゃる姿を実際に拝見できる魅力があります。



訪問リハビリステーション 恵風園の 原田です！

**Q3. 一人当たりの利用者様の訪問時間はどのくらいですか？**

**A.** 1週間に1回40分～60分の方や40分を3回（計120分）利用されている方など様々な利用形態があり、ご相談のうえご利用いただけます。併せて、訪問リハビリ以外の時間についても有意義に過ごしていただけるように利用者様とご家族へご自宅での過ごし方のアドバイス等も行っています。

訪問リハビリをご希望の方は、担当の「介護支援専門員」または、「訪問リハビリステーション恵風園」へご相談下さい。

TEL:0957-43-2116 FAX:0957-43-2522



慈恵病院 栄養課 ソフト食について

ソフト食とは、ミキサーにかけた食材を凝固剤を使用して固め直し、もとの食材・献立に近い状態に形作ったものです。慈恵病院では、2019年5月よりソフト食を開始しました。当初は院内の厨房にて手作りで調理しておりましたが、提供できる食数に限りがありました。ソフト食の食数増加へ対応するため、2020年3月よりおかずのみ専門の業者で調理したものを提供するなど、試行錯誤を重ね、現在は30食程度提供しております。ソフト食の導入により、「食べこぼしが少なくなった」「自力摂取を促しやすい」など良い意見もある一方で、「見た目が似ていて、何を食べているか分からない」などの声も聞かれます。これからも彩りの良い安全なソフト食の提供をすることで、より患者様に喜んでいただけるよう努めてまいります。



お正月の献立 (ちらし寿司)

ある日の夕食